

第 3 回総合計画等推進市民委員会 事前質問・意見一覧表

事前に送付した会議資料（地方創生関係交付金を活用した事業）に対し、以下のとおり質問や意見が寄せられておりますので、回答と併せ、報告いたします。

I. 寄せられた質問及び意見の件数（総括表）

	質問数	意見数	掲載 ページ
地方創生関係交付金を活用した事業 関係			
(資料名等)			
1. 資料1 地方創生関係交付金について	0	0	P. 2
2. 資料2 地方創生関係交付金 事業シート全般について	0	0	P. 2
(No.1) 八戸都市圏の食ブランドを活かした広域連携による稼ぐ力強化事業について	1	0	P. 2
(No.2) 八戸スポーツビジネス創生事業について	0	0	P. 3
(No.3) 八戸産ぶどうを活用したワイン産業の創出による地域活性化事業について	1	0	P. 3
(No.4) はちのへ空き家再生事業について	1	2	P. 3
(No.5) はちのハマチナガ活性化プロジェクトについて	0	2	P. 4
(No.6) 蕪島エントランス整備事業について	0	0	P. 5
計	3	4	-

(次ページ以降に具体的な質問や意見の内容を掲載)



II. 具体的な内容

1. 資料1 地方創生関係交付金について

●質問

質問なし

●意見

意見なし

2. 資料2 地方創生関係交付金 事業シート全般について

●質問

質問なし

●意見

意見なし

【各事業について】

○No.1 八戸都市圏の食ブランドを活かした広域連携による稼ぐ力強化事業について

●質問

No.	内容	
1	質問	<p>【掲載箇所】4ページ（⑦地域商社事業）</p> <p>○ 実績中の混載できる配送資材とはどのようなものか。また、8回の試験輸送の地場産品とはどのようなものか。</p>
	回答	<p>【担当課】観光課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配送資材には、地元企業とVISITはちのへが共同開発した、内部に仕切りがあり、様々な産品を混載して発送するのに適した段ボール箱を使用しております。 ・ 地場産品は、一例として、にんにく、長芋などの野菜、生ハム、ウインナーなどの肉類、ヒラメなどの海産物、その他、八戸ワインなどを発送いたしました。

●意見

意見なし

○No.2 八戸スポーツビジネス創生事業について

●質 問

質問なし

●意 見

意見なし

○No.3 八戸産ぶどうを活用したワイン産業の創出による地域活性化事業について

●質 問

No.	内 容	
2	質問	<p>【掲載箇所】14～16ページ</p> <p>○ 次年度以降、八戸ワインの生産量増大が見込まれるが、市としての販促支援について教えていただきたい。</p>
	回答	<p>【担当課】農業経営振興センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内レストランのオーナーシェフ等で構成される八戸ワインフェスティバル実行委員会との共催で開催している「八戸ワインフェス」や、市内のソムリエ等を講師とし、ワインと八戸の食との組み合わせを研究する「八戸ワインカレッジ」等、八戸ワインの魅力を発信するイベントを開催し、ワインの需要拡大並びに販売促進を図っております。

●意 見

意見なし

○No.4 はちのへ空き家再生事業について

●質 問

No.	内 容	
3	質問	<p>【掲載箇所】17ページ</p> <p>○ 事業期間が令和2年度までとなっているが、空き家ポータルサイトの運営は誰がどのような形で事業終了後に行っていくのか。</p>
	回答	<p>【担当課】市街地整備課</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、空き家対策を推進していくうえで、空き家の利活用に関するポータルサイトの運営は、施策の柱となるものです。 これまでの事業の効果を検証し、ポータルサイトの運営も含め、事業の継続について検討してまいります。

●意見

No.	内容	
4	意見	<p>【掲載箇所】17～19 ページ</p> <p>○ 「はちのへ空き家ずかん」への空き家登録数が少ない。事業の成果を実現するためにも、不動産業者との連携強化などを進めて登録数を増やす工夫が必要だと思う。</p>
	回答	<p>【担当課】市街地整備課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家バンク機能を有する「はちのへ空き家ずかん」を平成31年3月に公開して以降、サイトのPRに努めた結果、徐々に空き家バンクへの登録が増えてきており、成約に至る物件が出るなど、空き家解消の成果が出始めているところです。 ・ 今後もサイトのPRや、事業で把握した空き家所有者に対し、不動産関係団体等と連携し、空き家バンクへの登録を促すなど、登録数を増やす取り組みを行い、空き家解消に努めてまいります。
5	意見	<p>【掲載箇所】17～19 ページ</p> <p>○ ウェブサイトは、立ち上げてからが大事。事業の終わりがウェブサイトの終わりではなく、この先も良質なコンテンツを積み重ね、皆さんの役にたつサイトに育てて行っていただきたい。</p>
	回答	<p>【担当課】市街地整備課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの事業の効果を検証し、他の類似サイトにはない、魅力的なサイトにするよう、事業の継続について検討してまいります。

○No.5 はちのへマチナカ活性化プロジェクトについて

●質問

質問なし

●意見

No.	内容	
6	意見	<p>【掲載箇所】20～21 ページ（マチニワの活用方法について）</p> <p>○ 現状、学生、一般人の休息場所、時間つぶしの場所、野菜果物の販売場所に主に使われており、活用方法について再考した方がよい。</p>
	回答	<p>【担当課】八戸ポータルミュージアム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マチニワは散歩、食事、待合せ、読書、休憩など日常的な居場所としての利用のほか、中心街に賑わいを創出するイベントなどに活用できる場所として整備いたしました。 ・ 施設開館以来、日常的に市民の憩いの場として利用されているほか、音楽イベントや各種マーケット、山車の展示など、土日を中心に様々なイベントの会場として利用されております。また、平日を中心に移動販売車などによる販売等の場所としても利用されております。 ・ 今後も、中心街の憩いと賑わい創出の場としてマチニワが有効活用されるよう検討してまいります。

No.	内 容	
7	意見	<p>【掲載箇所】23 ページ（中心市街地の歩行者通行量）</p> <p>○ K P Iとして中心市街地歩行者通行量を設定しているが、40年以上前から人手によるカウント計測手法で行っている。今ではGPSデータ、カメラ画像といったICT技術の活用により、通行量を計測することが可能となってきている。新技術を活用した計測手法に切り替えて、通行量のよりの確な分析、まちなかでのイベントやソフト事業の効果検証を行ったらいかがか。</p>
	回答	<p>【担当課】まちづくり文化推進室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はちのへまちナカ活性化プロジェクトのK P Iで設定する「中心市街地の歩行者通行量」については、「第3期八戸市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成30年12月～令和6年3月）」の目標値であり、毎年度、フォローアップのために計測している数値のうち主要8地点の数値を用いております。 ・ 当計画では「目視でカウントする」と測定方法を規定しており、また経年変化を適切に比較するために、同じ手法により実施していると理解しております。 ・ しかしながら、委員御案内のとおり、I C T 技術を活用した計測は、安定的で大量のデータ収集が可能となると思われることから、他自治体の活用事例などの情報収集を行いながら、活用可能性について研究してまいります。

○No.6 蕪島エントランス整備事業について

●質 問

質問なし

●意 見

意見なし
